

広告可能な医師・歯科医師の専門性を認定している
学会について（専門医数、認定要件等の概要）

広告可能な医師・歯科医師の専門性を認定している団体について(専門医数、認定要件等の概要)

※会員数、専門医数のうち、時期の記載のないものはH18.8現在の人数

団体名	名称 (広告できる資格者)	会員数	専門医数	専門医数 /会員数	専門医取得に必要な研修期間		認定施設の要件(主なもの)	専門医認定の際の要件、必要な提出資料等(主なもの)	試験			更新 年限
					通算	認定 施設			筆記	口頭	その他	
1	(社)日本整形外科学会	21,370	15,741	74%	6年	3年	○整形外科入院患者20名以上 ○整形外科手術件数年間100例以上 ○診療を適切に行える十分な設備等 ○専門医の1名以上常勤 ○2年ごとに施設の再審査	○診療記録10例提出 ○研修内容等を記載した研修手帳の提出 ○学会発表・論文発表各1編以上の提出	●	●		5年
2	(社)日本皮膚科学会	10,403 (H18.6)	5,042 (H18.6)	48%	5年	5年	○研修内容を履修するに十分な施設 ○専門医の常勤 ○3年ごとの更新制	○研修実績記録簿の提出(講習受講、学会発表、原著発表について定められた単位数が必要)	●	●		5年
3	(社)日本麻酔科学会	9,711	5,478 (うち麻酔科指導医 2,577)	56%	5~6年	1年	○専門医が常勤の部(科)長 ○麻酔科医が管理する麻酔症例が年間200例以上 ○安全な麻酔のための施設、設備の完備 ○麻酔科医が自己研鑽する機会の付与 ○5年ごとの更新制	[指導医の認定] ○麻酔科専門医取得後、満4年以上麻酔関連業務に専従 ○指導医のもとで1年以上麻酔の臨床業務に従事 ○臨床実績、所定の学術集会等の参加実績、指導実績に関する資料の提出(参加実績、指導実績には所定の単位が必要) [専門医の認定] ○認定医取得後2年以上麻酔科関連業務に専従 ○認定病院で麻酔の臨床業務1年以上従事 ○臨床実績、所定の研究実績に関する資料の提出(研究実績は所定の単位が必要) ※認定医 ・麻酔科標榜に関して許可を受けていること(①認定病院で2年以上の修練、②2年以上麻酔業務従事+気管挿管による全身麻酔300症例以上)	●	●	実技試験、 実地審査 (実地審査は必要とされた場合のみ)	5年
4	(社)日本医学放射線学会	7,890	4,768	60%	5年	5年	○原則200床以上の総合病院 ○病理部門の設置、放射性診療に必要な施設 ○放射性診断の場合10,000件以上/年、核医学診療の場合500件以上/年、放射線治療の場合60例以上/年 ○主任指導者(専門医)、修練指導者(経験3年以上、常勤医師2名以上)の設置	○研修記録、業績目録の提出	●		(1次試験)	5年
									●	●	(2次試験)	
5	(財)日本眼科学会	13,736	9,368	68%	5~6年	4~5年	[以下のいずれかの施設] ○大学附属病院の眼科 ○眼科専門医1名以上が常勤し、十分な指導体制がとれている病院 ○大学眼科教室が研修に適切と推薦した病院 ○2年ごとの更新制	○眼科手術100例以上(うち外眼・内眼・レーザー手術が20例以上)の経験が必要 ○研修報告書、学会報告、論文目録などの提出	●	●		5年
6	(社)日本産科婦人科学会	15,538	11,882	76%	5年	3年	[以下のいずれかの施設] ○医療機関附属病院 ○臨床研修病院 ○下記の基準を満たす病院 ・総合診療が可能 ・年間分娩数原則200件以上 ・年間開腹手術50件以上 ・複数の専門医の常勤、うち1名は8年以上の産婦人科臨床経験 ・症例検討会、抄読会等の集会の定期的な開催 ○5年ごとの更新制	○研修記録(実地経験目録、症例記録、参考資料として学会出席、発表、論文等の記録)の提出 ○症例に関するレポート(3症例)の提出	●	●		5年
7	(社)日本耳鼻咽喉科学会	10,643	8,123	76%	6年	3年	○医療機関の附属病院、臨床研修病院等 ○専門医の常勤 ○研修の実施に必要な病床数、手術件数、設備、人員 ○3年ごとの更新制	○専門研修記録簿、研修業績リストの提出	●	●	小論文	5年

	団体名	名称 (広告できる資格者)	会員数	専門医数	専門医数 /会員数	専門医取得に必要な研修期間		専門医認定の際の要件、必要な提出資料等(主なもの)	試験			更新 年限
						通算	認定 施設		筆記	口頭	その他	
8	(社)日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医 (医師)	7,470	5,896	79%	4年 臨床研修終了後	4年	○医療機関病院、臨床研修病院又はこれに準ずる病院 ○指導医による教育体制が整っていること ○教育環境の総合的な整備 ○5年ごとの更新制	●	●		5年
9	(社)日本形成外科学会	形成外科専門医 (医師)	4,218	1,505	36%	6年 (臨床研修2年+4年)	4~6年	○臨床研修病院等の総合的な病院 ○形成外科の標榜 ○必要な形成外科病床を常時有すること ○専門医の常勤 ○形成外科に関する教育研究活動の実施 ○1年ごとの更新制	●	●		5年
10	(社)日本病理学会	病理専門医 (医師)	4,118	1,929	47%	6年 (臨床研修2年+4年)	4年	○年間剖検(30例以上)、年間生検(1500件以上) ○細胞診業務の実施状況 ○臨床病理協議会の開催状況 ○剖検・生検試料の保管状況 ○施設・機械などの整備状況 ○指導医の常勤 ○2年ごとの更新制	●	●	実地試験 (鏡検試験)	5年
11	(社)日本内科学会	内科専門医 (医師)	92,632	10,564	11%	6年	6年	○単独型もしくは管理型臨床研修病院の資格を満たす病院、管理型臨床研修病院に準ずる病院 ○内科病床数が50床以上 ○年間内科剖検体数が16体以上、又は内科剖検率が20%以上で内科剖検体数が10体以上 ○指導医5名以上で、そのうち専門医(認定内科医を含む)が3名以上 ○臨床病理検討会(CPC)が年3回以上定期的に開催 ○2年ごとの更新制	●			5年
12	(社)日本外科学会	外科専門医 (医師)	38,853	13,774	35%	5年	5年	○外科系病床常時30床以上 ○指導医1名以上、専門医又は認定医2名以上常勤 ○年間150例以上の外科手術症例数 ○剖検室の設置又は剖検の体制整備 ○教育的行事の定期的な開催 ○中央検査室、中央図書館、病歴の完備 ○3年ごとの更新制	●	●	面接	5年
13	(社)日本糖尿病学会	糖尿病専門医 (医師)	15,517	3,298	21%	6年	3年	○指導医の常勤 ○糖尿病の専門外来があること ○食事指導の常時実施 ○糖尿病患者教育の実施 ○5年ごとの更新制	●	●		5年
14	(社)日本肝臓学会	肝臓専門医 (医師)	10,412	3,506	34%	5年	5年	○消化器病床として常時30床以上 ○指導医1名、専門医1名以上常勤 ○剖検室を有すること ○5年ごとの更新制 (研修は消化器病学会の認定施設でも可。ただし少なくとも1年は本学会の認定施設の研修が必要)	●			5年
15	(社)日本感染症学会	感染症専門医 (医師)	9,235	816	9%	6年 基本領域学会の研修を含む	3年	○医療機関附属病院、総合病院又はこれに準ずる病院 ○指導医1名以上常勤	●			5年

	団体名	名称 (広告できる資格者)	会員数	専門医数	専門医数 /会員数	専門医取得に必要な研修期間			専門医認定の際の要件、必要な提出資料等(主なもの)	試験			更新 年限
						通算	認定 施設	認定施設の要件(主なもの)		筆記	口頭	その他	
16	有限責任中間法人 日本救急医学 会	救急科専門医 (医師)	10,231	2289	22%	5年	3年	○救急部門があること ○各種救急患者を診療していること ○救急車で搬送される救急患者を充分数受け入れていること ○院外心肺停止(CPA)患者を充分数受け入れていること ○専門医2名以上常勤 ○専門医の修練に適した設備の完備 ○3年ごとの更新制	○修練施設表・勤務証明書の提出 ○診療実績表の提出	●			5年
17	(社)日本血液学会	血液専門医 (医師)	5,714	2,022	35%	3年	3年	○血液病床を常時5床以上 ○指導医1名以上の常勤 ○臨床血液学に関する教育的行事の定期的な開催 ○5年ごとの更新制	○内科学会認定医又は小児科学会専門医(認定医)であること ○診療実績記録の提出(受け持ち入院患者10名)	●			5年
18	(社)日本循環器学会	循環器専門医 (医師)	22,537 (H18.4)	9,817	44%	6年	3年	○循環器病床が常時30床以上 ○専門医2名以上常勤 ○2年ごとの更新制	○内科学会認定医、外科学会認定医又は小児科学会認定医のいずれかであること ○診療実績表の提出	●			5年
19	(社)日本呼吸器学会	呼吸器専門医 (医師)	10,224 (H18.3)	3,360 (H18.4)	33%	3年	3年	○呼吸器病床として常時20床以上 ○指導医1名以上常勤 ○剖検室を有していること	○内科学会認定医であること ○業績を証明する文書(呼吸器病学関係の論文3編以上、呼吸器関連学会での発表3編以上)	●			5年
20	(財)日本消化器病学会	消化器病専門医 (医師)	27,679	14,127	51%	6年	2~3 年	○消化器病床を常時30床以上 ○指導医1名以上、専門医2名以上常勤 ○剖検室の設置 ○5年ごとの更新制	○内科学会認定医又は外科学会専門医であること	●			5年
21	(社)日本腎臓学会	腎臓専門医 (医師)	7,847	2,683	34%	6年	3年	○腎・尿路疾患の入院患者が年間100名以上 ○常勤医2名以上で、指導医1名以上又は専門医2名以上常勤	○内科学会認定医は取得後3年以上、小児科学会専門医、外科学会専門医、泌尿器科学会専門医は取得後1年以上であること ○経験症例の記録及び要約の提出	●			5年
22	(社)日本小児科学会	小児科専門医 (医師)	18,643	11,956	64%	5年	3~5 年	○医療機関附属病院、臨床研修病院、小児総合医療施設等 ○小児の入院病床の確保 ○小児科に専門医3名以上 ○症例検討会などの学術集会の定期的な開催	○研修記録の提出 ○症例要約の提出	●	● 面接		5年
23	(社)日本口腔外科学会	口腔外科専門医 (歯科医師)	8,926	1,538	17%	6年	6年	○口腔外科専有病床を含め使用可能病床10床以上 ○指導医が1名以上常勤 ○口腔外科に関連する課題について定期的な教育行事の実施 ○3年ごとの更新制	○手術及び入院症例履修報告書の提出(手術症例は100例以上の執刀者であること、入院症例は担当医として診療に従事した40例以上) ○業績目録の提出(学会における学術発表、学術論文を指定学術雑誌に5編以上発表)	●	●		5年
24	(社)日本内分泌学会	内分泌代謝科専門 医 (医師)	6,313	1,481	23%	3年	3年	○指導医の常勤 ○内分泌代謝科の専門外来及びその病床 ○継続5年以上にわたる十分な診療実績 ○5年ごとの更新制	○業績目録の提出(学会発表又は論文発表5編以上) ○内分泌代謝疾患相当例以上の入院及び外来の診療経験(診療実績表に40症例以上、うち20症例は病歴及び臨床経過要約の提出) ○内科学会又は小児科学会の認定医(専門医)であること	●	●		5年
25	有限責任中間法人 日本消化器外 科学会	消化器外科専門医 (医師)	21,121	3,203	15%	5年	5年	○消化器疾患を対象とする病院 ○消化器手術が3年間で600例以上 等 ○指導医1名に加え、指導医1名(又は専門医1名か認定医2名)が常勤 ○諸施設の完備、教育行事の開催 ○3年ごとの更新制	○外科学会認定医又は専門医であること ○診療実績一覧表の提出(450例以上)及び手術記録の提出 ○業績目録の提出(研究発表6件以上(論文3編を含む))	●	●		5年
26	(社)日本超音波医学会	超音波専門医 (医師)	8,102	1,535	19%	5年	5年	○指導医1名以上勤務又は専門医2名以上常勤 ○十分な施設・機器 ○5年ごとの更新制	○500例以上の超音波診療経験 ○診療実績表の提出(超音波診療実績100例、報告書抄録30例、剖検症例報告書抄録3例) ○業績表の提出(学会発表・学術論文5篇以上) ○研修実績(総会の参加、教育集会の受講)	●			5年
27	特定非営利活動法人 日本臨床細 胞学会	細胞診専門医 (医師)	4,237	2,113	50%	5年	-	-	○細胞診断学に関する研究論文3編以上	●		細胞像試験 (カラブリ ット)、 鏡試験	4年

団体名	名称 (広告できる資格者)	会員数	専門医数	専門医数 /会員数	専門医取得に必要な研修期間		専門医認定の際の要件、必要な提出資料等(主なもの)	試験			更新 年限		
					通算	認定 施設		筆記	口頭	その他			
												認定施設の要件(主なもの)	
28	(社)日本透析医学会	透析専門医 (医師)	10,260	3,905	38%	5年	5年	○身体障害者福祉法に基づく更正医療担当医療機関(腎機能障害)の指定 ○特定機能病院、総合病院など ○指導医1名以上及び専門医1名以上の常勤 ○諸施設の保有 ○教育行事の定期的な開催	○内科学会・外科学会の認定医又は専門医、泌尿器科学会専門医、小児科学会専門医、麻酔科学会指導医のいずれかであること。または認定施設で5年以上臨床経験を有するものであること。 ○病歴要約の提出(経験症例31例、うち20例は症例要約) ○一定の業績(学会発表、論文発表)	●	●		5年
29	(社)日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医 (医師)	8,178	6,133	75%	6年	4年	○脳神経外科専門医1人以上常勤 ○脳神経外科手術年間30件以上	○直接手術に関与した100例の一覧表の提出 ○研修内容を記載した研修手帳の提出	●	●		6年
30	(社)日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科専門医 (医師)	9,861	1,256	13%	5年	3年	○指導責任者(専門医)の常勤 ○医療研修が適切に行える十分な設備等(理学療法・作業療法・言語聴覚療法施設) ○5年ごとの更新制	○学会主演者抄録2編、リハビリテーション医学に関する筆頭著者論文1編の提出 ○担当症例一覧表100例、担当症例報告書30例の提出	●	●		5年
31	(社)日本老年医学会	老年病専門医 (医師)	6,463	1,446	22%	6年	3年	○研修に十分な病床・施設 ○指導医の下、充分な指導体制 ○剖検室の保有 ○5年ごとの更新制	○内科学会認定医であること ○診療実績表(65歳以上の多臓器疾患を有する30例の入院患者)、業績目録の提出	●			5年
32	特定非営利活動法人 日本胸部外科学会	心臓血管外科専門医 (医師)	8,078	1,848	23%	7年	3年	○心臓血管外科手術が3年間平均して100例/年以上 ○臨床工学技士1名以上常勤 ○以下のすべての条件を有する者が1名以上常勤(①心臓血管外科専門医、②胸部外科学会指導医で心臓血管外科専門医、③心臓血管外科学会国際会員、④心臓血管外科に関する論文10編以上かつ心臓血管外科手術経験100例以上) ○医療安全研修等が行われており、研修医が参加していること ○5年ごとの更新制	○外科学会専門医・認定医であること ○臨床修練実績表、症例抄録、業績一覧表の提出 ○術者として最小50例以上の手術など必要な手術数が規定されており、総点数式で評価	●			5年
33	特定非営利活動法人 日本血管外科学会		2,786		66%								
34	特定非営利活動法人 日本心臓血管外科学会		3,999		46%								
35	特定非営利活動法人 日本胸部外科学会	呼吸器外科専門医 (医師)	8,078	1,139	14%	7年	3年	○呼吸器手術が3年間平均して75例/年以上 ○一定資格を有する呼吸器外科医1名以上常勤 ○5年ごとの更新制	○外科学会専門医・認定医であること ○手術経験(規定された手術が術者として5例ずつ必要など、必要な手術数が規定) ○呼吸器外科学に関する論文・著書3編以上、学会発表(全国規模の学術総会)筆頭で3回以上	●			5年
36	特定非営利活動法人 日本呼吸器外科学会		3,362		34%								
37	(社)日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医 (医師)	30,544	13,763	45%	5年	5年	○内視鏡室の設置、必要な機器の設置 ○充分な週間検査件数 ○指導医1名以上勤務、専門医2名以上常勤 ○独立した病理部門又は依頼できる病理専門施設の確保	○一定の検査実績(上部消化管1000例以上、下部消化管100例以上、治療内視鏡20例以上) ○論文、講演などの業績目録の提出(一定単位以上)	●			5年
38	特定非営利活動法人 日本小児外科学会	小児外科専門医 (医師)	2,582	422	16%	5年 (外科医として7年)	3年	○小児外科の専門医療の実施 ○専従医師2名以上 ○過去3年間の小児外科手術数100例以上/年、新生児外科症例10例以上/年 ○小児科及び麻酔科の医師の常勤 ○必要な設備 ○5年ごとの更新制	○研究論文、学会発表(一定以上) ○外科学会専門医であること	●			5年
39	有限責任中間法人 日本神経学会	神経内科専門医 (医師)	8,612	4,105	48%	6年	3~4年	○神経内科を持つ有床施設 ○専門医3名以上 ○臨床神経学の検査が可能 ○神経内科に関連する教育的事業を実施 ○3年ごとの更新制	○内科学会認定医であること ○経験症例10例の病歴概略 ○領域ごとの経験症例数の提出 ○研修歴の提出	●	●		5年
40	有限責任中間法人 日本リウマチ学会	リウマチ専門医 (医師)	8,784	3,492	40%	5年	5年	○総合病院等 ○リウマチ性疾患年間100症例以上(関節リウマチ30症例以上) ○指導医1名以上又は専門医2名以上 ○リウマチ学に関する定期的な教育 ○3年ごとの更新制	○関連基本領域学会の専門医(認定医)であること ○業績目録の提出 ○教育研修単位30単位以上取得	●			5年

	団体名	名称 (広告できる資格者)	会員数	専門医数	専門医数 /会員数	専門医取得に必要な研修期間		専門医認定の際の要件、必要な提出資料等(主なもの)	試験			更新 年限	
						通算	認定 施設		筆記	口頭	その他		
41	特定非営利活動法人 日本歯周病学会	歯周病専門医 (歯科医師)	6,150	770	13%	5年	5年	○定期的な教育、研修の実施 ○指導医の常勤(1名以上) ○教育研修の実施に必要な設備	○教育研修実績(一定単位以上) ○歯周疾患患者10症例提出(うち1症例は試験時に申請者がプレゼンテーションし、口頭試験を実施)	●	●		5年
42	有限責任中間法人 日本乳癌学会	乳腺専門医 (医師)	8,063	560	7%	5年	5年	○大学病院、乳癌を主な対象とする専門施設 ○乳癌症例の診断・治療が原則年間20例以上	○研究業績(一定点数以上) ○認定施設における100例以上の乳癌症例の診療経験(診療実績一覧表の提出)	●	●		5年
43	有限責任中間法人 日本人類遺伝学会	臨床遺伝専門医 (医師)	2,510	595	24%	3年	3年	○臨床遺伝医療に関する外来の開設 ○複数の専門医(最低1名は指導医)が勤務する臨床遺伝医療部門 ○臨床遺伝医療に関する臨床研修が可能 ○5年ごとの更新制	○基本領域学会の専門医・認定医 ○遺伝医療を行った30症例のリスト、そのうち5症例についての要約 ○論文提出	●	●		5年
44	社団法人 日本東洋医学会	漢方専門医 (医師)	8,247	1,803	22%	6年	3年	○大学病院、総合病院 ○2人以上の指導医 ○5年ごとの更新制	○基本領域学会の専門医・認定医 ○50症例のリスト、そのうち10症例の臨床報告 ○学会への参加、論文の発表等(一定の単位が必要)	●	●		5年
45	特定非営利活動法人 日本レーザー医学会	レーザー専門医 (医師)	1,402	23	2%	5年	5年	○専門医1名以上 ○医用レーザー機器 ○3年ごとの更新制	○基本領域学会の専門医 ○症例抄録(10症例) ○学会への参加、論文の発表等(一定の単位が必要)	●			5年
46	特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医 (医師)	5,144	1,777	35%	5年	5年	○内視鏡検査室、必要な気管支鏡機器 ○年間100症例以上 ○常勤の指導医1名以上 ○5年ごとの更新制	○気管支鏡診療実績(経験症例100例以上、術者として20例を含む) ○認定施設における修練証明書の提出 ○業績表の提出(一定の単位が必要)	●			5年
47	有限責任中間法人 日本歯科麻酔学会	歯科麻酔専門医 (歯科医師)	2,265	164	7%	5年	5年	○歯科麻酔科のある大学病院等 ○常勤の指導医 ○全身麻酔症例数100例以上、鎮静法症例数100例以上 ○全身麻酔に必要な機器	○5年以上歯科麻酔分野への専従 ○5年間に担当した全身麻酔症例、全身管理症例、疼痛治療症例の中から年間100例、総計500症例の一覧 ○業務目録の提出(論文、学会発表など)		●	小論文	5年
48	有限責任中間法人 日本小児歯科学会	小児歯科専門医 (歯科医師)	4,211	628	15%	5年	5年	○指導医1名以上常勤 ○研修の実施に必要な設備、図書、人員 ○小児歯科に関連する課題の定期的な教育・研修 ○5年ごとの更新制	○診療実績証明書の提出(専門医試験で10症例を提示) ○教育研修単位取得証明書の提出(一定の単位が必要)		●	実技試験	5年

(参考資料)

- ・各学会ホームページ
- ・「日本専門医認定機構概報(平成17年版)」(有限責任中間法人日本専門医認定機構)
- ・厚生労働科学研究費補助金「専門医制度におけるトレーニング等の質の確保に関する研究」(主任研究者:慶應義塾大学医学部内科教授 池田康夫)